

住みやすさと情報

—「住みやすい」という気持ちはどこから生まれるのか—

東京経済大学コミュニケーション学部 社会調査グループ

以下に報告する内容は、山田晴通が授業を担当した2012年度の「社会調査実習」において、実習として実施された社会調査の成果です。この科目の当年度の履修者は8名で、全員が最終的に単位を取得しました。

一年間の実習は、全体的に当初シラバスに提示した計画よりも遅れ気味に進行し、報告書の完成は翌年度はじめにずれ込みましたが、受講者諸君の自主的な取組で何とか以下のような形にまとめ、成果の公表に漕ぎ着けることができました。

報告書の作成に至る実習の各段階では、山田が適宜必要な助言を与えましたが、報告書の構成・文章の執筆に際しては、受講者8名の自主的な努力が最大限尊重されています。本報告の文責は、受講者8名と山田が、等しく分ちもつものです。

この調査は、予備調査や質問紙調査にご協力をいただいた皆様をはじめ、国立市および国分寺市の関係地域の皆様に、様々なご支援を頂戴して実現したものです。ご支援、ご協力をいただきました全ての皆様に、感謝を申し上げます。まことにありがとうございました。

この調査に関するお問い合わせは、東京経済大学山田晴通研究室（Tel/Fax 042-328-7923, yamada@tku.ac.jp）までお寄せください。

2012年度東京経済大学コミュニケーション学部社会調査グループ：

林真鈴，大徳宣子，大崎杏実，小林里帆，井上航太，塚本裕乃，下村望，中川和徳
（指導教員）山田晴通

1. はじめに

現在、「情報を入手する」といえば、マスメディア4媒体といわれたテレビや新聞などの媒体ではなく、インターネットや携帯電話といったツールに変わりつつあります。しかし、自分たちが暮らしている地域についての情報を得るとすれば、人々は何からどのように得よ

住みやすさと情報

うとするのでしょうか。日常生活を送る上で、私たちは地域からの情報が欲しいと感じるはずです。情報の重要性は、2011年に発生した東日本大震災の時に多くの人が感じたことです。情報が広く伝わっている地域は、安心して生活を送ることができるのではないのでしょうか。そう考えた私たちは社会調査士資格の認定科目である「社会調査実習」の一環として、地域住民の生活意識と情報についての調査を行うことにしました。

本報告書は「地域住民の生活満足度調査」というテーマの基、地域住民の皆様がより快適な暮らしを送るために、今後の「地域への課題」を提案することを目的として、調査内容を取りまとめたものです。ひとつの事項を決めるために、何度も話し合いを繰り返して沢山の時間を費やさなくてはならないことや、多くの文献を調査する必要があること、調査のために何度も地域に足を運ぶ必要があることなど、様々な困難に直面するなかで、思うように計画を進められないことが多くありました。それと同時に社会調査の難しさとやりがいを実感し続けた1年でした。

それでも無事に本報告書を作成し、発表させて頂くことが出来たのは、現地調査にご協いただいた国立市と国分寺市の一部地域の皆様、また、このような実践的な調査を行う機会を与えて下さり、支えて下さった学校関係者各位の皆様のおかげだと感じています。皆さまに深くお礼を申し上げます。

2. 調査概要

2-1 調査テーマと調査目的

今回は「地域の住みやすさに関する意識調査」をテーマとし、調査を行いました。2011年に起こった東日本大震災を受け、地域の人同士のつながりの深さや、住民が地域についてどれほど愛着を持っていて、どれほど満足しているのかなどを知りたいと思い設定しました。この調査は、より良い地域を作るために必要なことと改善点を見出すことを目標に掲げています。中でも私たちは「自治体からの情報」に注目しました。自治体から情報を常に受け取っている地域は、住みやすいと感じている人が多いと考えたためです。

このテーマで調査する目的は、大きく分けて2つあります。

①市に対する満足度と発信されている情報との関連を調べる

情報獲得には、広報誌や回覧板、ポスター、インターネットなどの媒体の利用や、人間関係およびコミュニケーションが大きくかかわってきます。媒体の利用状況と、実際の公共施設の認知度、利用率を比較し、住民がどのように行動することで、どのように感じながら生活をしているのかを調べます。

②「地域の住みやすさに関する意識」と周辺の環境との関連を調べる

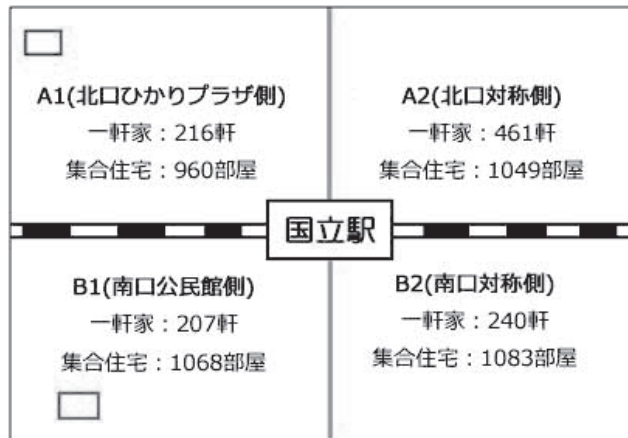


図1 配布対象地域のブロック

「地域の住みやすさ＝満足度」において、具体的に周辺の環境が大きく影響すると私たちは推測しました。特に公共施設は、地域の住みやすさを良くする役割を担っているはずなので、利用者とそうでない人との間に大きな「満足度」の差が開いてしまっているのではないかと、思いました。それに付随し、私たちは公共施設を利用するための情報獲得に着目をしました。

2-2 調査対象と調査方法

今回の調査では、JR 国立駅から半径 500m に最も近くなるよう道路で区切った線を基準としたエリアの内側を調査対象地域としました。このエリア内の一軒家および集合住宅に居住している国分寺市と国立市の 10 代以上の男女を対象とし、ニアレストバースデー方式¹⁾によるアンケート用紙を一軒家 800 世帯と集合住宅 800 部屋の計 1600 にポスティングするという方法を取りました。対象地域の設定にあたっては、株式会社ゼンリンの国分寺市と国立市の住宅地図を用いました。なお、図 1 の一軒家および集合住宅数は私たちが地図上で把握した数となっています。

さらに今回は、施設からの情報がどの程度行き渡っているかを調べるために 4 つのブロックに分けることとしました。それに伴い、質問紙がどこのブロックから返ってきたかを判断するため、ブロックごとにアンケート用紙の色を A1 エリアは青、A2 エリアは緑、B1 エリアは赤、B2 エリアは黄と設定することにしました。

1) 各世帯の満 18 歳以上で原則として「次の誕生日」が最初に来る人に回答してもらう方式

住みやすさと情報

・国分寺市と国立市の比較理由

国分寺市と国立市をそれぞれで比較しようと考えたのは、それぞれ異なる行政地区の下では住民の生活満足度が異なってくるのではないかと推測したからです。2つの市を比較することによって、どのような行政がより住民に満足度を与えているのかを、明らかにすることを目的としています。国立駅を中心とした近いエリアの中で2つの市の調査を行うことで、それぞれの市の行政による満足度の違いを明らかにしていきます。

アンケート調査を行うにあたり、配付対象者を選ぶために設けたルールは以下の通りです。より正確な統計結果を出すために、最も適切であると考えられる方式を考案しました。一軒家と集合住宅は、それぞれの数が異なっていたため調査方式も異なるものを使用することにしました。また、エリアごとの人口も異なっているため、最も人口の多かったA2エリアのみ有意抽出のルールを設けました。

・ブロック別にした理由

国立駅周辺のエリアをさらに4つのエリアに分けて調査を行ったのは、より細かく「施設がもたらす満足度の影響」を知るためです。本調査を進めるにあたって、仮説に「施設の近くに住んでいる人は満足度が高い」というものが挙がりました。その仮説立証のため、調査地域のブロック分けが最も有効であると判断をしました。具体的には国立駅より北側（国分寺市側）のひかりプラザ、南側（国立市側）の公民館などの公共施設周辺を各1ブロックとし、さらに北側と南側をそれぞれ半分にエリア分けをしました。計4つのエリアに分けることで、各公共施設からの情報が、どの地域の住民にどの程度行き渡っているかの判断基準としました。

・一軒家への配付

全戸配付と有意抽出を併用しました。アンケート配付数の目標は1ブロックあたり200軒以上、4ブロック合計で計800軒以上としました。A1, B1, B2エリアにある一軒家には、全戸配付します。ただしA2エリアに関しては一軒家の数が他のブロックよりも多いため、番地が偶数の家のみ配付します（所在する町丁名などは考慮しません）。次に、地図上で明らかに事業所などと判断されるものは対象から外します。「別」²⁾と表記されたマンションまたは「別」と記されていないがマンション・アパートと思しき建物は、配付対象とします。配付に行った際、事業所および家自体がなくなっていた場合は投函しません。ただし、新しく家ができていたり、地図と住んでいる方が変わっていたりした場合は投函します。

2) 株式会社ゼンリンの国分寺市と国立市の住宅地図に「別」と記入されている建物は、別紙に建物名、居住の有無、入居者名義などが掲載されている。

また、配付予定先にポストがなかった場合、もしくは明らかに空き家でありポストが封じてある場合にはその家には投函しません。次に、二世帯住宅やひとつの家に名字の異なる複数人が住んでいる場合、ポストが別々になっていればそれぞれに投函し、ポストがひとつしかない場合はアンケートを1部だけ投函します。ブロックあたりの配付数が200に届かなかった場合、配付可能な最大値まで配付します。

・集合住宅への配付

集合住宅については有意抽出としました。実際は1000部屋前後ありましたが、オートロックなどで投函できない集合住宅があることを想定し、配付数の目標は1ブロックあたり200部屋、計800部屋とします。そして800部屋のうち25%（4部屋に1部屋ずつ）に投函を行います。ポストの左上から右方向へ投函し、投函した部屋と次に投函する部屋の間は3部屋空くようにします（図2）。

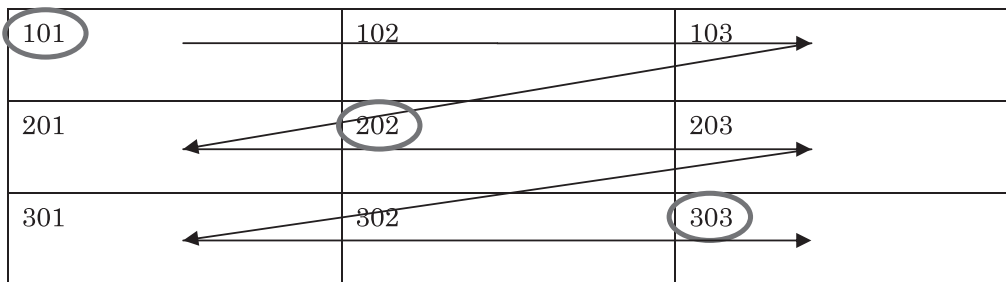
また、抽出の際には、人が住んでいるか、事業所かどうかは考慮せずに配付対象として考えます。地域住民の満足度調査なので、事業所への調査は基本的に行いませんが、ポストに個人名が書いてある事業所には配付します。

次の段も同じように配付します。部屋番号は考慮しません。投函対象となった部屋が、何らかの理由（事業所・ポスト封鎖・空き家など）で投函できない状態になっていた場合、その部屋は飛ばし、次の投函対象の部屋へ進みます。一軒家と同様に配付数が200に届かなかった場合、配付可能な最大値まで配付します。二世帯以上で住んでいる場合やひとつの家に名字の異なる複数人が住んでいる場合、ポストが別々になっていればそれぞれに投函し、ポストがひとつしかない場合はアンケートを1部だけ投函します。配付する際には、地図上に部屋番号と配った数を記入し、配付数に間違いが出ないようにします。

・配付をする上でのルール

配付の際は地図上に、配付した場所と配付数、および配付できなかった場所とその理由を

図2 集合住宅の投函例



住みやすさと情報

必ず記入します。記入方法は、配付完了は○、配付不可は×、新たにできた家は□とします。そして、○および□の中に配付した順に番号を振ります。

2-3 仮説と分析項目

今回の調査をするにあたり、「住みやすい」と感じるポイントとなる仮説を考えました。

- ① 国立市の方が、景観に関する意識が高い
- ② 一軒家に住んでいる人の方が、住みやすいと感じている
- ③ 家族と一緒に住んでいる人の方が、住みやすいと感じている
- ④ 知り合いの数が多い人ほど、住みやすいと感じている
- ⑤ 居住年数が長いほど、住みやすいと感じている

以上の仮説を証明するとともに、「情報ツールの利用」・「施設・イベントと情報」の2つの分析項目から「住みやすさと情報の関係」についても分析をしていきます。

2-4 調査項目

以上の仮説を証明するため、私たちは「住みやすさと情報」という点から、大きく3つの項目に分けてアンケート調査票を作成することにしました。

- ① 利用している情報ツールについて
 - ・ 居住している市の情報を得るために利用している情報ツールとその利用程度
 - ・ 居住している市に関する情報を入手した際に共有する人物
 - ・ 居住している市にまつわる情報で知りたいもの
- ② 行政の施設・サービスと情報について
 - ・ 国分寺市・国立市の施設とイベントについての情報、またどのように情報を得たか
 - ・ 自宅から徒歩15分圏内にある施設
 - ・ どのような施設を利用したいか
 - ・ 住んでいる市について身近だと思う問題
- ③ 住みやすさについて
 - ・ 現在住んでいる市の居住年数
 - ・ 現在住んでいる市は住みやすいか
 - ・ 現在住んでいる市に居住する以前はどこに住んでいたか
 - ・ 以前住んでいたところと比べて現在の市は住みやすいか
 - ・ 今後も現在住んでいる市に住み続けたいか

2-5 事前調査

私たちは事前調査としてインタビュー調査および小規模調査と現地調査、文献調査を行いました。

2-5-1 インタビュー調査と小規模調査

地域の住みやすさに関する満足度調査を始める前に、インタビューや、地域の文献調査を行いました。インタビューは2012年5月から6月にかけて行い、5人の地域の方に協力していただき、生活の中で実際に感じていることを尋ねました。この調査は防災意識についての前年度の調査のフォローを兼ねて行いました。その中でも、情報収集の手段をより深く教えて下さった2人の方のインタビュー内容が以下のものとなっております。

・Wさん(60代男性)「震災時の情報収集手段について」

『ラジオは地震の影響を受けないので、震災時に向いている。しかし、全体的な情報のみを提供しているため、地域の情報は得られない。市の無線マイクを使って放送し、それを口頭で伝えるのがいいのではないか。実際、FMラジオ立川もうまく機能していなかった。助けを呼ぶ方法として、家の上に旗をあげ、黄色は半壊、赤色は全壊など、色で判別できるようにする案を提案したい。子どももわかるし、順番に避難をさせることができるので良いのではないか。ゲーム感覚にできたらやりやすいのではないかと思う。新しい方法を、新しい発想で若い世代が考えていってほしい。』

マスコミは全体の情報のみの提供のため過激。冷静になって行政の情報を分析することが大事だ。

・Sさん(60代女性)「震災時の情報収集手段について」

携帯電話は震災直後からつながらなくなった。静岡のお嫁さんが大阪に住んでいる次男のお嫁さんに電話をしてくれたため、大阪とは連絡が取れた。「災害伝言ダイヤル」を使ってみたが、うまく使えなかった。

インターネットを使おうとは啾嗟に思わなかった。インターネットは普段あまり使用しないが、計画停電の確認は行った。

計画停電の際、「市からの情報は遅い」と周囲からの声があった。市役所や地域センターに置かれていた計画停電の計画表を持ち帰り、印刷して周囲の住宅のポストに投函した。特にお年寄りの方は情報に疎くなってしまうからだ。また市からの計画停電のシステムの説明も不十分で、システムの仕組みを理解するまでに時間がかかった。計画停電は電柱の配線によって、こちらの電気は点いているのに道路の向こう側は消えるということが起こった。なぜこのようなことが起こるのか納得してもらうためにも、情報が重要となってくる。

住みやすさと情報

昨年（調査当時：2011年を指す）は回覧板の担当だったため、周囲20軒に回していた。回覧板は「早く」回すものというイメージが強いため、ちゃんと読まれていない可能性が非常に高いので、重要なお知らせは戸配したが、戸配だと経費や手間などのコストがかかる。

広報紙には目を通すようにしているが、仕事で忙しい旦那や長男は見えていないと思われる。

年を取るごとに情報に疎くなってしまうため、ネットワークが大切であり、対面でのコミュニケーションを心がけている。現在、国分寺市内の自治体は全体の42%に減少し（以前は50%ほどあった）自治体を面倒と捉える人が多く、やめてしまうところが増えている。自治体は「守り合う組織」としての機能があり、自治体が重要な理由を納得してもらうため情報提供を行うことが大切。情報のネットワークの重要度を再確認すべきである。

市役所については、エネルギーロスな新庁舎をつくり、そのスペースをコンビニなどに貸すことは出来ないだろうか。朝から夜まで営業する食堂を併設すれば、夜など特に独り暮らしのお年寄りのコミュニティの場になるのではないかと思う。お金のあるお年寄りからお金を借りるなどして介護施設を併設するということもできるのではないか。

地域センターは、3人以上であれば借りられるため、コーラスや講演会などでよく利用する。そこで知り合った人たちと顔見知りになれるのでネットワークが広がり、大切な交流の場になっている。震災に関する情報やゴミについての情報を発信させてはどうだろう。

・小規模調査のためのアンケート作成

本調査で用いるアンケート用紙を作成する過程で、サンプルとしてアンケート用紙を2パターン作成しました。それぞれのアンケート用紙を班員全員が家族や友人に配布し、合計で80人の方に解いてもらうことでアンケート用紙の問題点を探していきました。

2-5-2 現地調査

国立駅周辺北側のマンションの状況を現地に出向いて調査しました。調査数は25で、ポスティングの可否、表札が出ている世帯の数という2つのポイントで現地調査を行いました。結果として、ほとんど全てのマンションがオートロックだったので、ポスティングの可否は管理人と直接話して判断することになりました。新しくできている集合住宅を地図に記入し、地図上に記載されている住宅が何らかの理由でなくなっていれば、地図に×を記入しました。

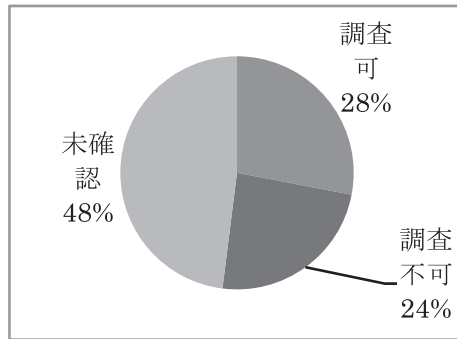
・全25棟中

①調査をお願いすることのできるマンション：7棟

（→その内表札が出ている世帯数：77世帯）

②確認をとる必要のあるマンション：12棟

③断られたマンション（事務所含む）：6棟



グラフ 1 国立駅北口側の集合住宅

2-5-3 文献調査

自分たちが調査する対象となった地域にはどのような文化が根付き、どのような問題を抱えているのかを調べるため、両市についてインターネットや新聞記事、関連書籍を調査いたしました。その結果、国立市は景観についての意識が高いのではないかという仮説が浮かびました。ここでは調べた内容の一部を掲載いたします。

【国分寺】

国分寺市は東京都のほぼ真ん中に位置しており、地名は奈良時代の中期に聖武天皇が建立させた国分寺が、現在の国分寺市西元町にあったことに由来しています。鎌倉時代には鎌倉街道が設けられたことにより、恋ヶ窪地区は宿場町として栄えました。江戸時代に入ると新田開発が盛んになり、明治22年(1889年)には10村が合併して国分寺村が誕生しました。甲武鉄道(現・JR中央線)の新宿～立川が開業に伴い国分寺駅が開設したことと、明治26年(1893年)に川越鉄道(現・西武国分寺線)が開業したことで交通の要所となり、農村であった国分寺は開発が進んでいきます。昭和48年(1973年)には武蔵野線の開業に伴い西国分寺駅が誕生すると、多摩地区の交通の要所としての重要性をさらに高めていきました。現在は「健康で文化的な都市」を目標に掲げ、国分寺駅北口側の再開発や西国分寺駅周辺の整備、文化財の復元に取り組んでいます³⁾。

【国立】

国立市は東京都西南部に位置し、もともとは「谷保(やほ)」という地名でした。水田に適した土壌により、かつては稲作や農業が盛んに行われていました。大正の末期に、西武グループの創始者である堤康次郎が英国の田園都市と米国の都市を融合した理想の「学園都

3) 国分寺タウン <http://www.kokubunji-town.com/history/>

住みやすさと情報

市」としてのまちづくりを目指し、開発を始めました。こうして現在のような碁盤の目状に区画整備され、商科大学（現・一橋大学）などを誘致、中央線に駅を新設するに至りました。昭和26年（1951年）に村から町となり、その際に「国分寺」と「立川」の頭文字をとって国立と改められました。隣の立川で歓楽商売店の発展が著しくなると、環境を守るために市民や学生が立ち上がり、昭和27年（1952年）、東京都で初めて「文教地区」の指定を受け、歓楽業の進出を防ぎました。国立の景観に対する意識の高さは、1990年代以降に高層マンションの建設計画をめぐる起きた住民運動などにもみられます。現在も自然豊かな学園文化都市としてさらなる発展を目指す取り組みが行われています⁴⁾。

3. 本調査結果

本調査は、2012年12月24日から27日にかけてアンケート用紙を配付し、郵送によって1月末日までに返送されたものを集計対象としました。配付総数は1413票で内訳は表1の通りです。アンケートは全部で248部（回収率17.55%）が戻ってきました。市ごと、ブロックごとの回収率は表2の通りです。

・全体の考察

回答者の層については、まず、回答者の年齢層は幅広く、20代からも回答があったことには驚きました。全体の分布としては年代が上がるごとに回答者数も上がり、50代から回答者がさらに増加していることがわかりました。また、性別については、男性も女性もほぼ半数ずつと、割合に大きな差はありませんでした。居住地については、回答者のうち国立市の人が約6割、国分寺市の人約4割と、国立市の回答者が多くなりました。居住形態については、一軒家の人が約6割、集合住宅の人が約3割その他の居住形態が約1割と、一軒家に住んでいる回答者が多かったです。また世帯の特徴としては夫婦世帯と二世帯世帯の回答者が多い結果となりました。職業については、無職が約3割を占めており、50代以上の回答者が多いことから、定年を迎えた回答者が多いと考えました。また会社員と主婦との回答も多く、次に自営業、公務員、アルバイト・パート、学生と続きました。市内の知り合いの数は、10人未満、20人未満という回答が多く、市内での知り合いは少ない人が多いことが伺えます。しかし、50人未満という人も2割を占めるため、知り合いの人数には波があることがわかります。10人から20人の人を合わせると約半数で、50人以上が2割と多いです。居住年数については、30年以上住んでいるという人が4割を超えていたため、市のことや生活について熟知している回答者が多かったと思われる。次いで多かったのが10年以上

4) 国立タウン <http://www.kunitachi-town.com/history/>

表1 アンケート配布数

	一軒家	集合住宅	合計
A1	231	178	409
A2	204	178	382
B1	161	118	279
B2	179	164	343
合計	775	638	1413

表2 アンケートの返送数

	国分寺市	国立市	無回答	合計
A1	0	47	0	47
A2	4	60	0	64
B1	31	33	2	66
B2	53	18	0	71
合計	88 (35.48%)	158 (63.71%)	2 (0.81%)	248 (100.00%)

20年未満の回答者でした。回答者が身近に抱えている問題として、ゴミのポイ捨てと景観について多く挙がっていました。景観を重視する声が多く挙がったのは国立市の方でした。マンションの景観問題が昔から存在していたためだと考えられます。振り込め詐欺の回答も若干多く、回答者に高齢者が多いためだと思います。

・国分寺市についての考察

一軒家の割合が高く、単身世帯が少ない分、二世帯世帯が多い結果となりました。国立市よりも主婦が多いのは、家族世帯が多いことと単身世帯が少ないためかもしれません。そして、居住歴の長い人の割合が高い国分寺市の方が、「住みやすい」と回答している人が多かったです。国立市よりも、知り合いの数が多い人が多く、社会的であるといえるかもしれません。どちらの市も知り合いの数はすり鉢状（①10人未満、②20人未満と回答した人が多く、その後減って⑥50人以上が多くなる）となっています。しかし、①よりも②と回答した人が多いです。国立市はその逆となっています。また、国分寺市の方が「住みにくい」と感じる人の割合が少しばかり多いようです。

知り合いとかかわるのは買い物だという回答者が多かったです。情報を得ている割合が大きいのは、駅が大きいからではないでしょうか。口コミを利用しているのも国立市よりも多

住みやすさと情報

いのは、主婦が多いことの影響とも考えられます。国分寺市のほうが「住みやすい」と答えた人が少ないため、地域に対する愛着があまりないのかもしれませんが。しかし、国分寺市からの情報は得られていると感じている人が多いところを見ると、情報が伝わっていることが満足度に関係があるわけではないようです。住み続けたくないと回答した人も国立市より多い結果となりました。

身近に感じる問題は、ポイ捨て、景観、空き巣という順序でした。

・国立市についての考察

集合住宅の割合が高く、単身世帯が多い傾向がみられました。回答者の多くは会社員で、国分寺市よりも三世帯世帯の割合が多かったです。また、国分寺市よりも知り合いが少ないという回答と、誰とも情報を共有しないという回答が目立ちました。単身世帯が多いため、あまり人と交流する機会がないのではないのでしょうか。事実、国分寺市よりも交流をもたないと回答する人が多く、人のつながりが薄いことがわかります。しかし、買い物の時に交流する割合は国分寺市の2倍でした。散歩とイベント時に交流する人も多く、イベントは市民の交流の場としても機能していることがわかります。国立市は国分寺市よりも生まれた時から住んでいる人の割合が多いことがわかりました。単身世帯が少し多いにもかかわらず、国分寺市に比べて長年住んでいる人が多いということは、それだけ愛着を持っているとも考えられます。この結果から、知り合いの数はあまり満足度に関係がないようです。

国立市は「住みやすい」、「現在の方が住みやすい」、「今後も住み続けたい」とよりはっきりとした回答をした人が国分寺市を上回る結果となりました。この点から、国分寺市よりも満足度が高いといえるのではないのでしょうか。

そして特徴的な点として、国立市では回覧板の利用が少ないことが挙げられます。

3-1 仮説の証明

今回は2変数間の相関を調べるためにクロス集計を行い、期待度数とセル χ^2 を利用して仮説を証明しました。実際度数との乖離から仮説が証明できるかを考えていきます。

・国立市の方が、景観に関する意識が高い

「景観」の項目を見てみると、国立市は乖離がありませんが、国分寺市には乖離がみられました。期待度数よりも実際の度数が低いことから、国分寺市では景観を意識している人が多くないことがわかります。割合を見ても国分寺市が13.8%なのに対し、国立市は20.5%と7ポイントも高いことがわかります。このことから、国立市の方が景観に関する意識が高いと言えます。

		身近に感じる問題											合計	
		ゴミのポイ捨て	騒音	景観	ひったくり	空き巣	振り込め詐欺	非行 未成年による	変質者出没	暴力行為	その他	身近だと感じる 問題はない	無回答	合計
居住している市	国分寺市	28	12	20	4	15	13	1	14	0	10	26	2	145
	期待度数	30.22	15.83	26.26	3.238	12.23	7.196	0.719	7.555	0.719	14.75	23.74	2.518	—
	セル χ^2	0.163	0.927	1.494	0.179	0.625	4.681	0.109	5.496	0.719	1.530	0.213	0.106	—
	国立市	56	32	53	5	19	7	1	7	2	31	40	5	258
	期待度数	58.77	28.16	46.73	5.761	21.76	12.80	1.280	13.44	1.280	26.24	42.25	4.481	—
	セル χ^2	0.091	0.521	0.839	0.100	0.351	2.630	0.061	3.088	0.404	0.860	0.120	0.060	—
合計	84	44	73	9	34	20	2	21	2	41	66	7	403	
(%)	(20.3%)	(10.9%)	(18.1%)	(2.2%)	(8.4%)	(5.0%)	(0.5%)	(5.2%)	(0.5%)	(10.2%)	(16.4%)	(1.7%)	(100.0%)	

・一軒家に住んでいる人の方が、住みやすいと感じている人が多い

結果に乖離はほとんど見られませんでした。期待度数にかなり近い結果を得ることができました。割合を見てみると、「住みやすい」「まあ住みやすい」と回答した人は一軒家で88.28%, 集合住宅で86.25%, その他で100%という結果になりました。検定の結果、乖離があまり見られなかったことを踏まえると、一軒家の方が少しではありますが集合住宅に住んでいる人よりも住みやすいと感じている人が多いことがわかりました。

・家族と一緒に住んでいると、住みやすいと感じている人が多い

		現在居住している市は住みやすいか						無回答	合計
		住みやすい	まあ住みやすい	どちらとも いえない	あまり住み やすい ない	住みに くい	無回答	合計	
居住形態	一軒家	86	57	10	5	1	3	162	
	期待度数	80.346774	62.05645161	11.10483871	4.572580645	1.3064516	2.6129	—	
	セル χ^2	0.3977629	0.412007168	0.109922225	0.039952779	0.0718837	0.05735	—	
	集合住宅	35	34	7	2	1	1	80	
	期待度数	39.677419	30.64516129	5.483870968	2.258064516	0.6451613	1.29032	—	
	セル χ^2	0.5514031	0.367266553	0.419165085	0.029493088	0.1951613	0.06532	—	
	その他	1	4	0	0	0	0	5	
	期待度数	2.4798387	1.915322581	0.342741935	0.141129032	0.0403226	0.08065	—	
	セル χ^2	0.8830907	2.269006791	0.342741935	0.141129032	0.0403226	0.08065	—	
	無回答	1	0	0	0	0	0	1	
期待度数	0.4959677	0.383064516	0.068548387	0.028225806	0.0080645	0.01613	—		
セル χ^2	0.5122279	0.383064516	0.068548387	0.028225806	0.0080645	0.01613	—		
合計	123	95	17	7	2	4	248		
(%)	49.60	38.31	6.85	2.82	0.81	1.61	100.00		

住みやすさと情報

	現在居住している市は住みやすいか						合計
	住みやすい	まあ住みやすい	どちらともいえない	あまり住みやすい	住みにくい	無回答	
単身世帯	16	13	3	1	1	1	35
期待度数	17.35887097	13.40725806	2.399193548	0.987903226	0.282258065	0.564516129	—
セル χ^2	0.106373871	0.012370846	0.150454053	0.000148124	1.825115207	0.3359447	—
夫婦世帯	45	38	7	4	1	2	97
期待度数	48.10887097	37.15725806	6.649193548	2.737903226	0.782258065	1.564516129	—
セル χ^2	0.200900135	0.019113735	0.018508285	0.581791296	0.06060858	0.12121716	—
二世帯世帯	50	37	6	1	0	1	95
期待度数	47.11693548	36.39112903	6.512096774	2.681451613	0.766129032	1.532258065	—
セル χ^2	0.176413447	0.010187204	0.040270149	1.054383944	0.766129032	0.184889643	—
三世帯世帯	7	5	0	1	0	0	13
期待度数	6.447580645	4.97983871	0.891129032	0.366935484	0.10483871	0.209677419	—
セル χ^2	0.047330489	8.16247E-05	0.891129032	1.092210209	0.10483871	0.209677419	—
1～4 以外の世帯	4	2	1	0	0	0	7
期待度数	3.471774194	2.681451613	0.47983871	0.197580645	0.056451613	0.112903226	—
セル χ^2	0.080368851	0.173180936	0.563872323	0.197580645	0.056451613	0.112903226	—
無回答	1	0	0	0	0	0	1
期待度数	0.495967742	0.383064516	0.068548387	0.028225806	0.008064516	0.016129032	—
セル χ^2	0.512227905	0.383064516	0.068548387	0.028225806	0.008064516	0.016129032	—
合計	123	95	17	7	2	4	248
(%)	49.60	38.31	6.85	2.82	0.81	1.61	100.00

家族構成

		現在居住している市は住みやすいか								
		住みやすい	すい ま あ 住 み や	い え な い	ど ち ら と も	や す く な い	あ ま り 住 み	住 み に く い	無 回 答	合 計
知り 合 い の 数	10人未満	30	27	4	3	1	1	66		
	期待度数	32.733871	25.282258	4.5241935	1.8629032	0.5322581	1.0645161	—		
	セル χ^2	0.2283277	0.1167078	0.0607354	0.6940721	0.4110459	0.0039101	—		
	20人未満	33	22	3	2	1	2	63		
	期待度数	31.245968	24.133065	4.3185484	1.67782258	0.5080645	1.016129	—		
	セル χ^2	0.0984648	0.1885365	0.402582	0.0276589	0.4763185	0.952637	—		
	30人未満	13	10	1	0	0	0	24		
	期待度数	11.903226	9.1935484	1.6451613	0.6774194	0.1935484	0.3870968	—		
	セル χ^2	0.1010578	0.0707414	0.2530044	0.6774194	0.1935484	0.3870968	—		
	40人未満	4	5	1	0	0	1	11		
	期待度数	5.4556452	4.2137097	0.7540323	0.3104839	0.0887097	0.1774194	—		
	セル χ^2	0.3883872	0.146724	0.0802355	0.3104839	0.0887097	3.813783	—		
	50人未満	5	11	1	1	0	0	18		
	期待度数	8.9274194	6.8951613	1.233871	0.5080645	0.1451613	0.2903226	—		
	セル χ^2	1.7277807	2.4436993	0.0443285	0.4763185	0.1451613	0.2903226	—		
	50人以上	33	12	4	1	0	0	50		
	期待度数	24.798387	19.153226	3.4274194	1.4112903	0.4032258	0.8064516	—		
	セル χ^2	2.7125334	2.6715416	0.09565546	0.1198618	0.4032258	0.8064516	—		
	いない	2	5	3	0	0	0	10		
	期待度数	4.9596774	3.8306452	0.6854839	0.2822581	0.0806452	0.1612903	—		
セル χ^2	1.7661815	0.356961	7.8148956	0.2822581	0.0806452	0.1612903	—			
無回答	3	3	0	0	0	0	6			
期待度数	2.9758065	2.2983871	0.4112903	0.1693548	0.0483871	0.0967742	—			
セル χ^2	0.0001967	0.2141766	0.4112903	0.1693548	0.0483871	0.0967742	—			
合計	123	95	17	7	2	4	248			
(%)	49.60	38.31	6.85	2.82	0.81	1.61	100.00			

住みやすさと情報

		現在居住している市は住みやすいか							
		住みやすい	すい ま あ 住 み や	い え な い	ど ち ら と も	あ ま り 住 み や す く な い	住 み に く い	無 回 答	合 計
居 住 年 数	5年未満	10	18	3	2	0	0	33	
	期待度数	16.36694	12.6411	2.2621	0.93145	0.26613	0.53226	—	
	セル χ^2	2.476815	2.27175	0.24071	1.22582	0.26613	0.53226	—	
	5～10年	12	12	2	0	1	0	27	
	期待度数	13.39113	10.3427	1.85081	0.7621	0.21774	0.43548	—	
	セル χ^2	0.144517	0.26555	0.01203	0.7621	2.81033	0.43548	—	
	10年以上 20年未満	23	15	6	3	0	0	47	
	期待度数	23.31048	18.004	3.22177	1.32661	0.37903	0.75806	—	
	セル χ^2	0.004135	0.50123	2.39574	2.11081	0.37903	0.75806	—	
	20年以上 30年未満	17	15	1	0	0	0	33	
	期待度数	16.36694	12.6411	2.2621	0.93145	0.26613	0.53226	—	
	セル χ^2	0.024487	0.44017	0.70416	0.93145	0.26613	0.53226	—	
	30年以上	60	35	5	2	1	1	104	
	期待度数	51.58065	39.8387	7.12903	2.93548	0.83871	1.67742	—	
	セル χ^2	1.374266	0.5877	0.63582	0.29812	0.03102	0.27357	—	
	無回答	1	0	0	0	0	3	4	
	期待度数	1.983871	1.53226	0.27419	0.1129	0.03226	0.06452	—	
	セル χ^2	0.487936	1.53226	0.27419	0.1129	0.03226	133.565	—	
	合計	123	95	17	7	2	4	248	
	(%)	49.60	38.31	6.85	2.82	0.81	1.61	100.00	

「単身世帯」の項目を見ると、「住みにくい」と回答した人が期待度数を上回っており、期待よりも住みにくさを感じている人がいることがわかります。「三世帯世帯」の「あまり住みやすくない」の項目も同様の結果が出ました。一方、「二世帯世帯」の項目を見ると、「あまり住みやすくない」と回答した人が期待度数を下回っており、期待よりも住みにくさを感じている人が少ないことがわかります。

「住みやすい」「まあ住みやすい」と回答した項目を見ると、「単身世帯」で82.85%、「夫婦世帯」で85.57%、「二世帯世帯（親と子）」で91.58%、「三世帯世帯（親と子と孫）」で92.58%となり、同居する家族が増えるほど住みやすいと感じる人が多いことがわかりました。特に「夫婦世帯」と「二世帯世帯」で6ポイントの開きがあることから、子どもと同居している人ほど住みやすさを感じているという結果になりました。

なお、「上記以外の世帯」では85.71%の人が「住みやすい」または「まあ住みやすい」と回答していることを考えると、一人暮らしである単身世帯よりも誰かと同居していることで夫婦世帯と同等の住みやすさを感じている人が多いということがわかります。“誰かと住む”ということが住みやすさに関連しているようですこの結果、「家族と一緒に住んでいると、住みやすいと感じている人が多い」といえます。

・知り合いの数が多いほど、住みやすいと感じる人は多い

「50人未満」の項目を見ると、「住みやすい」と答えた人が期待度数を下回ったものの、「まあ住みやすい」と回答した人は期待度数を上回りました。それなりに住みやすさを感じている人が多いことがわかります。また期待度数では「住みやすい」と回答するとみられた人数が、満足度の割合が少し下がる「まあ住みやすい」を選んだ可能性も考えられます。対して「50人以上」の項目を見ると、「住みやすい」と回答した人が期待度数を上回り、「まあ住みやすい」と回答した人が期待度数を下回りました。期待としては「まあ住みやすい」と回答するであろう人数が「住みやすい」というより満足度の高い回答をしたのではないかと考えられます。

「住みやすい」「まあ住みやすい」と回答した人の割合は、「10人未満」で86.36%、「20人未満」で87.30%、「30人未満」で95.84%、「40人未満」で81.81%、「50人未満」で88.89%、「50人以上」で90.00%でした。この結果からは、知り合いの数が多いほど住みやすさに関連があるとはいえないことがわかりました。

・居住年数が長いほど、住みやすいと感じている人が多い

「5年未満」の項目を見ると、「住みやすい」「まあ住みやすい」と答えた人に大きな乖離が見られることがわかります。どちらも実際の回答数が期待度数を下回っており、住みやすさを感じる人が少ないことがわかりました。そして「10年以上20年未満」の項目をみると、

住みやすさと情報

住みやすさについてはあまり良い感情を持っていない人が多いことがわかります。

一方、「30年以上」の項目を見ると、「住みやすい」と答えた人が期待度数を上回っていることから、住みやすいと感じている人がより多いことがわかります。20年以上居住すると市に対して愛着もわき、満足度は高くなるようです。このことから「居住年数が長いほど、住みやすいと感じている人が多い」という結果が導かれました。

3-2 情報ツールの利用について

・全体

情報ツールの利用の程度については、ウェブサイトやツイッターなど、ネットメディアの利用はほとんどされていないことがわかりました。市の広報誌は一通り読んでいる人が多いのですが、必要情報のみを選び取って読んでいるという回答者も3割いることがわかりました。これは、広報誌に市民が必要としている情報が載っているということを示す一方で、自分の興味のある情報以外または得ようとしたくない人が多いのではないのでしょうか。その意味でも、広報誌の存在は市民の情報調達の手段として大いに役立っていると考えられます。また、国立市の回覧板利用が少ないという結果については、国分寺市よりも集合住宅の数が多いことに関係しているのではないのでしょうか。

情報ツールで得た情報の共有については、同居している人物と共有する人が6割近くいました。次いで、市内の知り合いと共有している回答者が多かったです。得た情報を誰とも共有しない人は少なく、知り合いや同居している人物と共有する人の割合が多いことがわかりました。相手が同じ情報を求めていると考え、共有が行われているのではないのでしょうか。求める情報の内容については、項目に挙げたほとんどの情報について、まんべんなく知りたいと感じている人が多いことがわかりました。中でも防犯・防災対策と医療・保険など、命や生活にかかわる情報を知りたいと考えている人が多かったです。

・国分寺市と国立市の比較

【回覧板】

国分寺市の方が国立市に比べて回覧板の閲覧率が全体的に高かったです。逆に国立市は閲覧していない人が半数にのぼり、あまり回覧板自体が普及していないことが伺えます。

【広報誌】

特に、両市で大きな差はみられませんでした。国立市の人は回覧板で情報を得られない分、ここで情報を補っているのではないかと考えていたのですが、そのようなことはないようです。

表3 国分寺市と国立市の情報ツールの利用

		何度も 読む	一通り 読む	必要情報 のみ読む	気が向い たら読む	利用して いない	無回答
1. 回覧板	国分寺	1 (1.14%)	38 (43.18%)	15 (17.05%)	0 (0.00%)	24 (27.27%)	10 (11.36%)
	国立	1 (0.63%)	29 (18.35%)	7 (4.43%)	2 (1.27%)	79 (50.00%)	40 (25.32%)
2. 市の広報誌	国分寺	3 (3.41%)	45 (51.14%)	20 (22.73%)	15 (17.05%)	2 (2.27%)	3 (3.41%)
	国立	7 (4.43%)	83 (52.53%)	44 (27.85%)	18 (11.39%)	2 (1.27%)	4 (2.53%)
3. 市の ウェブサイト	国分寺	1 (1.14%)	3 (3.41%)	12 (13.64%)	16 (18.18%)	41 (46.59%)	15 (17.05%)
	国立	0 (0.00%)	5 (3.16%)	30 (18.99%)	20 (12.66%)	68 (43.04%)	35 (22.15%)
4. 市の ツイッター	国分寺	1 (1.14%)	1 (1.14%)	1 (1.14%)	0 (0.00%)	68 (77.27%)	17 (19.32%)
	国立	0 (0.00%)	3 (1.90%)	2 (1.27%)	3 (1.90%)	114 (72.15%)	36 (22.78%)

※国分寺市 n=88 国立市 n=168

【ウェブサイト】

積極的に利用する人は多くありませんが、国立市では必要な情報を得るために利用することが多いという結果になりました。どうやら回覧板などで得られない情報は、ウェブサイトから得ているようです。

【ツイッター】

4媒体の中で一番利用率が低調でした。理由としては、ツイッターを利用している人自体が少ないことや、利用していても市のアカウントがあることを知らない、自分の居住している市が判明することを不安と感じて市のアカウントをフォローしないなどが考えられます。

3-3 施設と情報について

・全体

市内の知り合いとの交流の場面として、施設利用の時と買い物の時という回答が多く挙がっていました。施設という存在が市民の交流の場として、人とのかかわりを支える役目を持っているようです。

表4 各ブロックの居住地域割合 (%)

	国分寺	国立	無回答
A1	47.0	50.0	3.0
A2	74.6	25.4	0.0
B1	0.0	100.0	0.0
B2	6.25	93.75	0.0

イベントや施設の情報について、半分近くの人が情報を得られていると感じているものは、公民館と環境まつり、くにたち市民文化祭についてでした。これらイベントや施設についての情報は、広報誌から得たという人が多いです。地域性の高いイベントや施設については、インターネットなどの多く情報が載っているものより、必要情報のみが集約されて載っている広報誌が利用されやすいのかもしれない。

利用したい施設の条件としては、自宅から近い・気軽に入れる・無料で利用できるという3つが多く挙げられていました。中でも自宅から近いという条件を挙げた人が多く、家からの距離は施設利用の意思に大きくかかわっていることがわかりました。

・ブロック別でみる情報の行き渡り方

施設やイベントについての情報を得るにあたり、市民の方がどのような手段を用いていて、どの範囲まで届いているかを調べることも私たちが今回この調査を行った上で、非常に重要なもののひとつです。施設ごと、イベントごとに分けてその点をみていきます。

まずは施設についてです。

【ひかりプラザ】

国分寺市の施設というだけあって国分寺市民がいる地域での認知度が高かったです。しかし、近いからといってA1エリアの認知度がずば抜けて高いというわけでもありませんでした。回答者全員が国立市民のB1エリアでは、近くにあるにもかかわらず全く知られていないようです。A1、A2エリアでは回覧板で情報を得ている人も若干名いらっしゃいました。

【国立市公民館】

国立市公民館というだけあって国立市民の認知度が高い結果となりました。広報誌から情報を得たという人が比較的多い点から、両市とも自分の市の施設の情報は自分の市民にしか伝えていないとみることができます。特徴としては、国立市民の割合が多いB1、B2エリアでは広報誌を中心に様々なツールで情報を得ていることがわかりました。

表 5 各ブロック別にみる施設の情報の取得

		得 ら れ て い る	得 ら れ て い な い	ど ち ら で も な い	無 回 答
1. ひかりプラザ	A1	25 (37.88%)	20 (30.30%)	8 (12.12%)	13 (19.70%)
	A2	27 (38.03%)	26 (36.62%)	13 (18.31%)	5 (7.04%)
	B1	0 (0.00%)	30 (63.83%)	4 (8.51%)	13 (27.66%)
	B2	7 (10.94%)	22 (34.38%)	12 (18.75%)	23 (35.94%)
2. 国立市民公民館	A1	20 (30.30%)	24 (36.36%)	10 (15.15%)	12 (18.18%)
	A2	18 (25.35%)	35 (49.30%)	6 (8.45%)	12 (16.90%)
	B1	31 (65.96%)	7 (14.89%)	7 (14.89%)	2 (4.26%)
	B2	40 (62.50%)	12 (18.75%)	9 (14.06%)	3 (4.69%)

次にイベントと情報の関係についてみていきます。

【国分寺まつり】

国分寺市のイベントということで、国分寺市民の認知度が高かったです。こちらも広報誌での情報獲得が多くみられました。国分寺市民がいる A1, A2 エリアでは口コミやポスターで情報を得ている人も多くいました。

【くにたちさくらフェスティバル】

国立市のイベントであるにもかかわらず、国分寺市民の割合が高い A1, A2 エリアのほうが認知度が高い結果となりました。国分寺市民は広報誌や回覧板などの紙媒体、掲示板やポスターなどの掲示物という風に様々なところから情報を得ていることがわかりました。

表6 ブロック別にみる施設と情報の取得方法

	市の広報誌	回覧板	インターネット	地域の掲示板	チラシ	ポスター・	ロコミ	その他の方法	何からも入手していない	無回答
1. ひかりプラザ	A1	25 (30.12%)	5 (6.02%)	1 (1.20%)	3 (3.61%)	7 (8.43%)	5 (6.02%)	2 (2.41%)	10 (12.05%)	25 (30.12%)
	A2	30 (35.71%)	4 (4.76%)	4 (4.76%)	2 (2.38%)	3 (3.57%)	8 (9.52%)	2 (2.38%)	10 (11.90%)	21 (25.00%)
	B1	1 (2.13%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	26 (55.32%)	20 (42.55%)
	B2	7 (10.61%)	0 (0.00%)	3 (4.55%)	1 (1.52%)	1 (1.52%)	0 (0.00%)	3 (4.55%)	18 (27.27%)	33 (50.00%)
2. 国立市民公民館	A1	30 (38.46%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	5 (6.41%)	5 (6.41%)	2 (2.56%)	1 (1.28%)	13 (16.67%)	22 (28.21%)
	A2	19 (24.68%)	1 (1.30%)	1 (1.30%)	3 (3.90%)	2 (2.60%)	4 (5.19%)	2 (2.60%)	19 (24.68%)	26 (33.77%)
	B1	35 (52.24%)	0 (0.00%)	3 (4.48%)	8 (11.94%)	8 (11.94%)	2 (2.99%)	1 (1.49%)	6 (8.96%)	4 (5.97%)
	B2	43 (52.44%)	1 (1.22%)	1 (1.22%)	7 (8.54%)	5 (6.10%)	4 (4.88%)	1 (1.22%)	12 (14.63%)	8 (9.76%)

【国分寺環境まつり】

このイベントはどの地域でもある程度、認知度が高いようです。こちらは市を問わず多く広報誌とポスターから情報獲得をしていました。

【くにたち市民文化祭】

こちらも、どの地域でもある程度の認知度があり、市に関係なく広報誌とポスターでの情報獲得が比較的多かったです。ただし、秋に国立市にて大々的に行われる「くにたち市民まつり」と勘違いをして回答した方がいたかもしれません。

表7 ブロック別にみるイベントと情報の取得

		得 ら れ て い る	得 ら れ て い な い	ど ち ら で も な い	無 回 答
3. 国分寺まつり	A1	24 (36.36%)	22 (33.33%)	4 (6.06%)	16 (24.24%)
	A2	33 (46.48%)	21 (29.58%)	8 (11.27%)	9 (12.68%)
	B1	0 (0.00%)	29 (61.70%)	4 (8.51%)	14 (29.79%)
	B2	4 (6.25%)	25 (39.06%)	8 (12.50%)	27 (42.19%)
4. くにたちさくらフェスティバル	A1	18 (27.27%)	28 (42.42%)	5 (7.58%)	15 (22.73%)
	A2	12 (16.90%)	42 (59.15%)	6 (8.45%)	11 (15.49%)
	B1	1 (2.13%)	28 (59.57%)	3 (..38%)	15 (31.91%)
	B2	0 (0.00%)	30 (46.88%)	7 (10.94%)	27 (42.19%)
5. 国分寺環境まつり	A1	34 (51.52%)	11 (16.67%)	9 (13.64%)	12 (18.18%)
	A2	26 (36.62%)	26 (36.62%)	4 (5.63%)	15 (21.13%)
	B1	30 (63.83%)	6 (12.77%)	5 (10.64%)	6 (12.77%)
	B2	40 (62.50%)	8 (12.50%)	8 (12.50%)	8 (12.50%)
6. くにたち市民文化祭	A1	27 (40.91%)	16 (24.24%)	10 (15.15%)	13 (19.70%)
	A2	25 (35.21%)	27 (38.03%)	5 (7.04%)	14 (19.72%)
	B1	27 (57.45%)	8 (17.02%)	5 (10.64%)	7 (14.89%)
	B2	40 (62.50%)	11 (17.19%)	6 (9.38%)	7 (10.94%)

表8 ブロック別にみるイベントと情報の取得方法

		市の広報誌	回覧板	インターネット	地域の掲示板	ポスターチラシ	口コミ	その他の方法	何かからも入手していない	無回答
3. 国分寺まつり	A1	21 (26.25%)	2 (2.50%)	0 (0.00%)	4 (5.00%)	9 (11.25%)	2 (2.50%)	1 (1.25%)	12 (15.00%)	29 (36.25%)
	A2	31 (34.07%)	3 (3.30%)	2 (2.20%)	3 (3.30%)	9 (9.89%)	11 (12.09%)	2 (2.20%)	14 (15.38%)	16 (17.58%)
	B1	1 (2.13%)	1 (2.13%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (2.13%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	24 (51.06%)	20 (42.55%)
	B2	3 (4.55%)	0 (0.00%)	2 (5.03%)	2 (3.03%)	1 (1.52%)	3 (4.55%)	0 (0.00%)	21 (31.82%)	34 (51.52%)
4. くにたちさくらフェスティバル	A1	16 (21.33%)	3 (4.00%)	0 (0.00%)	4 (5.33%)	4 (5.33%)	2 (2.67%)	0 (0.00%)	15 (20.00%)	31 (41.33%)
	A2	15 (20.27%)	1 (1.35%)	0 (0.00%)	1 (1.35%)	3 (4.05%)	1 (1.35%)	0 (0.00%)	25 (31.08%)	30 (40.54%)
	B1	2 (4.17%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (2.08%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	25 (52.08%)	20 (41.67%)
	B2	0 (0.00%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	1 (1.59%)	0 (0.00%)	1 (1.59%)	0 (0.00%)	24 (38.10%)	37 (58.73%)
5. 国分寺環境まつり	A1	29 (34.52%)	0 (0.00%)	1 (1.19%)	5 (5.95%)	20 (23.81%)	4 (4.76%)	3 (3.57%)	4 (4.76%)	18 (21.43%)
	A2	10 (12.35%)	0 (0.00%)	1 (1.23%)	5 (6.17%)	15 (18.52%)	9 (11.11%)	1 (1.23%)	16 (19.75%)	24 (29.63%)
	B1	50 (41.67%)	0 (0.00%)	2 (2.78%)	7 (9.72%)	14 (19.44%)	3 (4.17%)	3 (4.17%)	5 (6.94%)	8 (11.11%)
	B2	37 (37.00%)	2 (2.02%)	2 (2.02%)	10 (10.10%)	17 (17.17%)	7 (7.07%)	2 (2.02%)	8 (8.08%)	14 (14.14%)
6. くにたち市民文化祭	A1	28 (35.44%)	0 (0.00%)	0 (0.00%)	4 (5.06%)	13 (16.46%)	4 (5.06%)	1 (1.27%)	7 (8.86%)	22 (27.85%)
	A2	12 (14.12%)	1 (1.18%)	1 (1.18%)	4 (4.71%)	13 (15.29%)	9 (10.59%)	3 (3.53%)	16 (18.82%)	26 (30.59%)
	B1	25 (38.46%)	0 (0.00%)	1 (1.54%)	6 (9.25%)	10 (15.38%)	1 (1.54%)	3 (4.62%)	9 (13.85%)	10 (15.38%)
	B2	39 (40.21%)	2 (2.06%)	3 (3.09%)	10 (10.31%)	16 (16.49%)	4 (4.12%)	1 (1.03%)	8 (8.25%)	14 (14.43%)

3-5 自由記述分析

ここではアンケートで記入していただいた自由記述欄を分析し、市民の方が地域に対してどのように考えているのかを調査します。

・全体

どちらの市も環境面では、「不法駐車」や「ポイ捨て」などマナーに関する不満が多いです。

・国分寺市

国分寺市では昔と比べてベンチや公園など交流の場がなくなり、新しく作られる気配がないという不安や、市の財政やサービスを問題視する意見がありました。都市開発に関する情報開示を求める意見も多数あり、市と住民の間で情報の共有ができていないのではないかと思います。

市に対して問題意識をもっている方が多く、自由回答の意見も国立市より多い点からも意識の高さが窺えました。また環境がいいという意見や「緑が多い」という満足度の高さが窺える意見もある一方で、「市道が狭く自転車や車が危ない」という意見もとても多かったです。

国分寺市民に関しては、国立市寄りに住んでいる人が多いエリアでは、回答も国立市に関するものが多かったです。国立駅周辺の道の狭さや、国立市の施設の充実度に対して不満を抱いており、「国分寺市のサービスを利用しにくい」という意見も多数ありました。

・国立市

国立市は全体的に改善を求める声が多かったです。公共施設や商業施設を充実させてほしいとの意見が多く、高齢化社会に向けた取組みを望む意見が多いです。図書館などの公共施設の充実や子育て支援サービスを求める意見や、市役所職員の対応の悪さや駅周辺の今後の見通しを疑問視する意見もありました。また大学通りに関しては緑が多いという意見がある一方で、自転車のマナーの悪さに関する意見も目立ちました。

国立市への満足度が低いと思われる回答者の意見には、「税金が高い」・「自然が少なくストレスを感じる」・「財政サービスが良くない」などがありました。一方、国立市を住みやすい、良い街と感じている方もいました。国立市は美しい環境を意識した街づくりを行ってきたため、住民もそれを誇りに思っているようです。特に大学通りへの愛着が強い様子が窺える回答が多くありました。その環境が高層ビルやマンション建設によって変わっていく様子に不満を感じている人が多いようで、「景観が乱されている」・「緑が減少している」などの意見がありました。

4. 調査における課題・問題点

私たちはこの調査を通じ、課題や反省について意見を出し合いました。その結果、次のようになりました。

- ・具体的な作業計画を作成する
- ・実習開始前に目的を明確に定める
- ・早期の調査目的の決定と共有を行う
- ・情報共有の方法を明確にする
- ・定期的な役割分担の見直しと情報共有をする
- ・社会調査実習の授業後は実習生全員が他の授業を入れないようにする
- ・前年度の調査を参考にできるようにする
- ・前年度の実習生の話を聞くことができる機会を設ける

【「何を目的とする調査なのか」目的決定・目的共有】

今回は「国分寺市・国立市民の生活意識」という抽象的な問題を調査で数値化して具体的な形に落とし込んでいくという目的で実習を行いました。序盤の作業では調査の目的の軸がぶれてしまっていました。早い段階での目的決定と目的共有で作業スピードが上げられたのではないかと考えています。

【1年間の実習の計画や月ごとの作業量】

実習を初めてから本格的に作業できた時期が遅かったと感じています。前期は比較的余裕がありましたが、就職活動が本格化した後期の後半や春休みに実習も忙しくなりました。その経験から全体の作業にもっと早めに取り組んだ方がいいと思いました。その上、1・2年生で社会調査を学んできたにもかかわらず、実際の作業に移すことが初めてであったため時間がかかったり、具体的にどのような作業をすべきかを理解しあえていなかったりしたことが作業が全体的に遅れてしまった原因であると考えています。そのためその時点で理解できている人が進めることが多く、勉強不足のまま作業に臨むことになってしまいました。実習チームは実習開始前から集まってある程度見通しを立てるなどし、基礎をつくっておくべきでした。そして1年間で行うべき課程が多いため、事前に細かい工程表を作成するべきだったと感じました。年間の工程表、月ごとの工程表、前期・後期の工程表、と細かく設定しておく良かったのかもしれない。

【作業の分担】

実習後半は就職活動と並行していた為、集まりに参加できるメンバーが少なくなっていました。中心となって動いてくれていたメンバーと参加できていなかったメンバーの作業量の差がかなりついてしまっています。情報交換はしっかりとできていたものの、集まりがベースとなって作業が進んでいたため、「集まりに参加できない状況」はチームで作業を進める上での課題点であると感じました。全体的に役割分担などを決めていなかったため、集まりに参加できる人の負担が大きくなってしまい、逆に参加できない人は状況を把握できていないことも多かったと思います。前期中は社会調査実習の授業の後に集まることも多かったのですが、その後の時限にも授業がある人が半分いたため、実習の授業後の時間をなるべく空けて集まることができるようになると、全員が集まる機会が増え、もっとスムーズに進んだのではないかと思います。そして、メールだけでなく、クラウドサービスを利用して情報共有を行うなどの工夫が必要であったと思います。

5. 結論

この結果から私たちが考えたのは、住みやすさと情報はすぐにイコールでつながっているのではなく、生活をしていく上で必要になってくるのだと考えました。

「住みやすさ」を市への満足度と考えたとき、今回行ったいくつかの仮説の検証中で、より住みやすさと関係が強かったのが「家族と同居しているか」という点でした。多くの人が家族または家族ではなくとも誰かと同居しており、単身世帯の方よりも「住みやすい」と感じている人が多い結果となりました。

そしてもうひとつが、どんな家に住んでいるかという点です。この2点から、その地域で暮らすというのは、まず「家」というものが何よりも根底にあるのではないかと考えました。「どんな家に住んでいるのか」「誰と住んでいるのか」の2点に対する満足度が高いと、「住みやすい」と感じるのです。そしてその上の層として、自分の家を取り巻く状況があります。それはご近所付き合いや市の施設、設備・整備や景観、環境という風にどんどん広い世界へと向かっていきます。今回、調べていく中で施設やイベントはその中のひとつであり、自分が楽しむためという理由に加えて、知り合いの方とのかかわりを深めたり、新たなつながりの場として利用されていたりするのだとわかりました。

では、情報はそこにどうかかわるのでしょうか。それは、市から発信される情報を得ることで、自分の「家」を取り巻いている地域で何が起きて、何が起ころうとしているのかを知ることができるという点です。しかし、今回の調査からもうひとつの情報のあり方が見えてきました。それは自分から積極的に情報を取りに行こうとする人は多くないものの、市に対する不満や要望を抱えている人がとても多いという点です。

住みやすさと情報

このことから、情報を受信することよりも自分たちが発信した情報を市に聞いてほしいと感じている人が多いということがわかります。市は、様々な事情がある中で市民のためにたくさんのお仕事をしています。しかし、自ら情報を発信し続けるだけでなく、広く市民の声を聴く姿勢も必要なのだと感じました。自由回答から、「途中で休めるベンチがほしい」という意見や、「交流できる公園がほしい」という意見が多くみられ、高齢化社会に向けたまちづくりが求められていると感じました。再開発の現状や今後の取り組みについて情報提供が少ないためか、不満が高まっていると思いました。高齢化社会が進む中で、若い人たちを街に呼び込んでいくことも重要であり、「子育て支援のイベントやサービスが少ない」という意見も多かったため、若い世代が子育てしやすい環境づくりに注力することが大切だと思います。

地域の住みやすさに関する意識調査

この用紙にはA3版両面 1 枚に21問の質問があります。1番最後の問題以外は、すべて番号を選んで○をつけていただく選択方式でお答えいただけます。また、お答えによってはカッコの中に言葉を書き込んでいただくこともあります。

質問の内容などにわからないところがある場合には、042-328-7923にお電話かFAXでお問い合わせください。よろしく願いたします。

東京経済大学コミュニケーション学部 社会調査グループ
責任者(担当教授) 山田晴通

1 あなたについて

0. あなたは次のいずれの方ですか。

- ①家族の中で次の誕生日が最初に来る18歳以上の方
②それ以外の18歳以上の方 ③18歳未満の方

1. 年齢を教えてください。

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代
⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上

2. 性別を教えてください。

- ①男性 ②女性

3. 現在お住まいの市を教えてください。

- ①国分寺市 ②国立市 ③わからない

4. 居住形態を教えてください。

- ①一軒家 ②集合住宅（マンション、アパート、団地など）
③その他（ ）

5. 家族構成を教えてください。

- ①単身世帯 ②夫婦世帯 ③二世身世帯（親と子）
④三世身世帯（親と子と孫） ⑤1～4以外の世帯

6. 職業を教えてください。（複数当てはまる場合は最も比重が大きいものに○を1つ）

- ①会社員 ②自営業 ③公務員 ④アルバイト・パート
⑤主婦 ⑥学生 ⑦無職

住みやすさと情報

7. 現在お住まいの市に知り合いは何人いらっしゃいますか。(ここでの知り合いは「挨拶する程度以上の人物」を指します)

- ①10人未満 ②20人未満 ③30人未満 ④40人未満
⑤50人未満 ⑥50人以上 ⑦いない

質問7で①～⑥と答えた方にお聞きます。⑦と答えた方は質問9へ進んでください。

8. 現在お住まいの市で知り合いのひとと最も交流をもつのはどのような時ですか。(〇は1つ)

- ①通勤・通学の時 ②施設利用の時 ③イベント参加の時 ④回覧板を回す時
⑤買い物の時 ⑥散歩・ジョギングの時(ペットの散歩も含む)
⑦その他() ⑧交流は持たない

2 情報ツールについて

9. 現在お住まいの市の情報を得るために利用している情報ツールについて最も近い選択肢に〇をつけてください。(それぞれ〇を1つずつ)

	何度も読む	一通り読む	必要情報のみ読む	気が向いたら読む	利用していない
1. 回覧板	1	2	3	4	5
2. 市の広報誌	1	2	3	4	5
3. 市のウェブサイト	1	2	3	4	5
4. 市のツイッター	1	2	3	4	5

10. 現在お住まいの市に関する情報を入手した際は、誰と共有しますか。(〇はいくつでも)

- ①同居している人物 ②市内の知り合い
③その他() ④誰とも共有しない

11. 現在お住まいの市にまつわる情報であなたが知りたいものを教えてください。(〇はいくつでも)

- ①防犯・防災対策 ②災害情報 ③公共施設の案内 ④医療・保険
⑤市内で開催されるイベント(公民館主催のものも含む)
⑥その他() ⑦特に知りたい情報はない

裏へ続く

3 行政の施設・サービスについて

12. 以下の施設・イベントについて、①情報は得られていると感じますか。また、②どのように情報を得ましたか。それぞれ教えてください。(○は①は1つ、②はいくつでも)

		①情報は得られているか			②情報の入手方法							
		得られている	得られていない	どちらでもない	市の広報誌	回覧板	インターネット	地域の掲示板	ポスター・チラシ	ロコミ	その他の方法	何かからも入手していない
(回答例) 施設 A		①	2	3	Ⓐ	B	Ⓒ	D	E	Ⓕ	G	H
施設	1. ひかりプラザ	1	2	3	A	B	C	D	E	F	G	H
	2. 国立市民公民館	1	2	3	A	B	C	D	E	F	G	H
イベント	3. 国分寺まつり	1	2	3	A	B	C	D	E	F	G	H
	4. 国分寺環境まつり	1	2	3	A	B	C	D	E	F	G	H
	5. くにたちさくらフェスティバル	1	2	3	A	B	C	D	E	F	G	H
	6. くにたち市民文化祭	1	2	3	A	B	C	D	E	F	G	H

13. あなたの自宅から徒歩15分圏内にある施設を教えてください。(○はいくつでも)

- ①市役所 ②公民館 ③図書館 ④地域センター
 ⑤小中学校・高等学校 ⑥大学 ⑦スポーツ施設 ⑧病院
 ⑨老人ホーム ⑩該当する施設はない ⑪わからない

14. あなたはどのような施設を利用したいと思いますか。(○は3つまで)

- ①自宅から近い ②気軽に入れる ③設備が整っている(バリアフリーなど)
 ④清潔感がある ⑤無料で利用できる ⑥スタッフの対応が丁寧
 ⑦多様なイベントや催し物がある ⑧ウェブサイトに多くの情報がある
 ⑨その他 ()

4 現在お住まいの地域の住みやすさについて

15. 以下のうち、現在お住いの市について身近だと感じる問題を教えてください。(○はいくつでも)

- ①ゴミのポイ捨て ②騒音 ③景観 ④ひったくり ⑤空き巣
 ⑥振り込め詐欺 ⑦未成年による非行 ⑧変質者出没 ⑨暴力行為
 ⑩その他 () ⑪身近だと感じる問題はない

16. 現在お住まいの市の居住年数を教えてください。

住みやすさと情報

- ① 5年未満 ② 5～10年 ③ 10年以上20年未満
④ 20年以上30年未満 ⑤ 30年以上 ⑥ わからない

17. あなたにとって現在お住まいの市は住みやすいですか。

- ① 住みやすい ② まあ住みやすい ③ どちらともいえない
④ あまり住みやすくない ⑤ 住みにくい

18. あなたは現在お住まいの市に居住する以前、どこに住んでいましたか。

- ① 都内の他の市区町村 ② 都外 ③ 国外
④ 生まれた時から国分寺市に住んでいる（一時期転出も含む）

質問18で①～③と答えた方にお聞きます。④と答えた方は質問20へ進んでください。

19. 以前住んでいたところと比べて、現在お住まいの市は住みやすいですか。

- ① 現在の方が住みやすい ② どちらかといえば現在の方が住みやすい
③ どちらも同じくらい ④ どちらかといえば以前の方が住みやすい
⑤ 以前の方が住みやすい

20. あなたは今後も現在お住まいの市に住み続けたいですか。

- ① 住み続けたい ② どちらかといえば住み続けたい
③ どちらかといえば住み続けたくない ④ 住み続けたくない

5 その他

21. 現在お住まいの市について普段お考えになっていることがあれば、自由にご意見をお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>

アンケートへのご協力ありがとうございました。

6-2 単純集計結果

1 あなたについて

問0 あなたは次のいずれの方ですか。	回答者数(人)	割合(%)
①家族の中で次の誕生日が最初に来る18歳以上の方	116	46.8
②それ以外の18歳以上の方	119	48.0
③18歳未満の方	0	0.0
無回答	13	5.2
合計	248	100.0

問1 年齢を教えてください。	回答者数(人)	割合(%)
①10代	0	0.0
②20代	13	5.2
③30代	23	9.3
④40代	26	10.5
⑤50代	42	16.9
⑥60代	57	23.0
⑦70代以上	86	34.7
無回答	1	0.4
合計	248	100.0

問2 性別を教えてください。	回答者数(人)	割合(%)
①男性	125	50.4
②女性	122	49.2
無回答	1	0.4
合計	248	100.0

問3 現在のお住まいを教えてください。	回答者数(人)	割合(%)
①国分寺市	88	35.5
②国立市	158	63.7
無回答	2	0.8
合計	248	100.0

住みやすさと情報

問4 居住形態を教えてください。	回答者数(人)	割合(%)
①一軒家	162	65.3
②集合住宅	80	32.3
③その他	5	2.0
無回答	1	0.4
合計	248	100.0

問5 家族構成を教えてください。	回答者数(人)	割合(%)
①単身世帯	35	14.1
②夫婦世帯	97	39.1
③二世帯	95	38.3
④三世帯	13	5.2
⑤1～4以外の世帯	7	2.8
無回答	1	0.4
合計	248	100.0

問6 職業を教えてください。	回答者数(人)	割合(%)
①会社員	51	20.6
②自営業	35	14.1
③公務員	8	3.2
④アルバイト・パート	7	2.8
⑤主婦	49	19.8
⑥学生	6	2.4
⑦無職	86	34.7
無回答	6	2.4
合計	248	100.0

問7 現在お住まいの市に知り合いは何人いらっしゃいますか。	回答者数(人)	割合(%)
①10人未満	66	26.6
②20人未満	63	25.4
③30人未満	24	9.7
④40人未満	11	4.4
⑤50人未満	18	7.3
⑥50人以上	50	20.2
⑦いない	10	4.0
無回答	6	2.4
合計	248	100.0

問8 現在お住まいの市で知り合いの方と最も交流をもつのはどのような時ですか。(問7で①～⑥と回答した方のみ。)

	回答者数(人)	割合(%)
①通勤・通学の時	15	6.0
②施設利用の時	39	15.7
③イベント参加の時	20	8.1
④回覧板を回す時	3	1.2
⑤買い物の時	26	10.5
⑥散歩・ジョギングの時	18	7.3
⑦その他	71	28.6
⑧交流は持たない	19	7.7
無回答	27	10.9
非該当	10	4.0
合計	248	100.0

住みやすさと情報

② 情報ツールについて

問9 現在お住まいの市の情報を得るために利用している情報ツールについて教えてください。(各1つずつ選択)

	何度も読む	一通り読む	必要情報のみ読む	気が向いたら読む	利用していない	無回答	合計
1.回覧板	2 (0.8%)	67 (28.2%)	22 (9.2%)	2 (0.8%)	98 (41.2%)	47 (19.7%)	238 (100.0%)
2.市の広報誌	10 (4.2%)	123 (51.5%)	63 (26.4%)	31 (13.0%)	4 (1.7%)	8 (3.3%)	239 (100.0%)
3.市のウェブサイト	1 (0.4%)	8 (3.4%)	39 (16.4%)	36 (15.1%)	105 (44.1%)	49 (20.6%)	238 (100.0%)
4.市のツイッター	1 (0.4%)	4 (1.7%)	3 (1.3%)	3 (1.3%)	175 (73.5%)	52 (21.8%)	238 (100.0%)
合計	14 (1.5%)	202 (21.2%)	127 (13.3%)	72 (7.6%)	382 (40.1%)	156 (16.4%)	953 (100.0%)

問10 現在お住まいの市に関する情報を入手した際は、誰と共有しますか。(複数回答)

	回答者数(人)	割合(%)
①同居している人物	177	58.4
②市内の知り合い	79	26.1
③その他	14	4.6
④誰とも共有しない	30	9.9
無回答	3	1.0
合計	303	100.0

問 11 現在お住まいの市にまつわる情報であなたが知りたいものを教えてください。(複数回答)

	回答者数(人)	割合(%)
①防犯・防災対策	135	21.0
②災害情報	112	17.4
③公共施設の案内	115	17.9
④医療・保険	130	20.2
⑤市内で開催されるイベント(公民館主催のものも含む)	109	17.0
⑥その他	22	3.4
⑦特に知りたい情報はない	19	3.0
無回答	1	0.2
合計	643	100.0

③ 行政の施設・サービスについて

問 12-① 以下の施設・イベントについて、情報は得られていると感じますか。

		得られている	得られていない	どちらでもない	無回答	合計
施設	1.ひかりプラザ	57 (23.8%)	94 (39.3%)	36 (15.1%)	52 (21.8%)	239 (100.0%)
	2.国立市民公民館	104 (43.5%)	76 (31.8%)	31 (13.0%)	28 (11.7%)	239 (100.0%)
	3.国分寺まつり	59 (24.7%)	94 (39.3%)	23 (9.6%)	63 (26.4%)	239 (100.0%)
イベント	4.くにたちさくらフェスティバル	29 (12.1%)	125 (52.3%)	20 (8.4%)	65 (27.2%)	239 (100.0%)
	5.国分寺環境まつり	127 (53.4%)	48 (20.2%)	25 (10.5%)	38 (16.0%)	238 (100.0%)
	6.くにたち市民文化祭	116 (48.5%)	59 (24.7%)	25 (10.5%)	39 (16.3%)	239 (100.0%)
合計		492	496	160	285	1433

問 12-② 以下の施設・イベントについて、どのように情報を得ましたか。(複数回答)

住みやすさと情報

	市の 広報誌	回 覧 板	イ ン タ ー ネ ッ ト	地 域 の 掲 示 板	ポ ス タ ー ！ チ ラ シ	ロ コ ミ	そ の 他 の 方 法	し て い な い 手	何 か ら も 入 無 回 答	合 計
1.ひかりプラザ	61 (22.5%)	9 (3.3%)	8 (3.0%)	6 (2.2%)	11 (4.1%)	13 (4.8%)	7 (2.6%)	60 (22.1%)	96 (35.4%)	271 (100.0%)
2.国立市民 公民館	121 (41.4%)	2 (0.7%)	5 (1.7%)	22 (7.5%)	19 (6.5%)	11 (3.8%)	5 (1.7%)	48 (16.4%)	59 (20.2%)	292 (100.0%)
3.国分寺 まつり	54 (19.6%)	6 (2.2%)	4 (1.5%)	9 (3.3%)	20 (7.3%)	16 (5.8%)	3 (1.1%)	67 (24.4%)	96 (34.9%)	275 (100.0%)
4.くにたちさくら フェスティバル	31 (12.4%)	4 (1.6%)	0 (0.0%)	6 (2.4%)	8 (3.2%)	4 (1.6%)	0 (0.0%)	83 (33.1%)	115 (45.8%)	251 (100.0%)
5.国分寺 環境まつり	104 (32.2%)	2 (0.6%)	6 (1.9%)	26 (8.0%)	64 (19.8%)	22 (6.8%)	8 (2.5%)	30 (9.3%)	61 (18.9%)	323 (100.0%)
6.くにたち 市民文化祭	102 (32.4%)	3 (1.0%)	5 (1.6%)	24 (7.6%)	50 (15.9%)	18 (5.7%)	7 (2.2%)	37 (11.7%)	69 (21.9%)	315 (100.0%)
合計	473	26	28	93	172	84	30	325	496	1727

問 13 あなたの自宅から徒歩15分圏内にある施設を教えてください。(複数回答)

	回答者数(人)	割合(%)
①市役所	16	1.6
②公民館	170	17.2
③図書館	104	10.5
④地域センター	95	9.6
⑤小中学校	146	14.8
⑥大学	158	16.0
⑦スポーツ施設	101	10.2
⑧病院	157	15.9
⑨老人ホーム	26	2.6
⑩該当する施設はない	3	0.3
⑪わからない	9	0.9
無回答	4	0.4
合計	989	100.0

問 14 あなたはどのような施設を利用したいと思いますか。(3つまで回答)

	回答者数(人)	割合(%)
①自宅から近い	170	26.1
②気軽に入れる	109	16.7
③設備が整っている(バリアフリーなど)	44	6.8
④清涼感がある	62	9.5
⑤無料で利用できる	110	16.9
⑥スタッフの対応が丁寧	65	10.0
⑦多様なイベントや催し物がある	62	9.5
⑧ウェブサイトによくの情報がある	5	0.8
⑨その他	13	2.0
無回答	11	1.7
合計	651	100.0

住みやすさと情報

4 現在お住まいの地域の住みやすさについて

問 15 現在お住いの市に住んでいて身近だと感じる問題を教えてください。(複数回答)

	回答者数(人)	割合(%)
①ゴミのポイ捨て	81	20.6
②騒音	43	10.9
③景観	70	17.8
④ひったくり	9	2.3
⑤空き巣	34	8.6
⑥振り込め詐欺	21	5.3
⑦未成年による非行	2	0.5
⑧変質者出没	21	5.3
⑨暴力行為	2	0.5
⑩その他	40	10.2
⑪身近だと感じる問題	64	16.2
無回答	7	1.8
合計	394	100.0

問 16 現在お住いの市に何年お住まいですか。

	回答者数(人)	割合(%)
①5 年未満	33	13.3
②5～10 年	27	10.9
③10 年以上 20 年未満	47	19.0
④20 年以上 30 年未満	33	13.3
⑤30 年以上	104	41.9
⑥わからない	0	0.0
無回答	4	1.6
合計	248	100.0

問 17 現在お住まいの市は住みやすいですか。	回答者数(人)	割合(%)
①住みやすい	123	49.6
②まあ住みやすい	95	38.3
③どちらともいえない	17	6.9
④あまり住みやしくない	7	2.8
⑤住みにくい	2	0.8
無回答	4	1.6
合計	248	100.0

問 18 現在お住まいの市に住む以前、どこに住んでいましたか。	回答者数(人)	割合(%)
①都内のほかの市区町村	148	59.7
②都外	64	25.8
③国外	7	2.8
④生まれた時から現在居住している市に住んでいる(一時期転出も含む)	23	9.3
無回答	6	2.4
合計	248	100.0

問 19 以前住んでいたところと比べて、現在お住まいの市は住みやすいですか。(問 18 で①～③と回答した方のみ)	回答者数(人)	割合(%)
①現在のほうが住みやすい	103	41.5
②どちらかといえば現在の方が住みやすい	41	16.5
③どちらとも同じくらい	47	19.0
④どちらかといえば以前の方が住みやすい	15	6.0
⑤以前の方が住みやすい	7	2.8
無回答	14	5.6
非該当	21	8.5
合計	248	100.0

問 20 今後も現在お住まいの市に住み続けたいですか。	回答者数(人)	割合(%)
-----------------------------	---------	-------

住みやすさと情報

①住み続けたい	148	59.7
②どちらかといえば住み続けたい	63	25.4
③どちらかといえば住み続けたくない	19	7.7
④住み続けたくない	6	2.4
無回答	12	4.8
合計	248	100.0

〔5〕 その他

問 21 現在お住まいの市について普段お考えになっていることがあれば、自由にご意見をお書きください。(自由回答)

	回答者数(人)	割合(%)
回答有	139	56.0
回答無	109	44.0
合計	248	100